

令和7年8月24日

保護者様

荒川区立第一中学校長
小柴 憲一

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのご協力をお願い

厚生労働省は今日22日、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数について、「1医療機関あたり6.3人となり、9週連続で増加している」と発表しました。

この夏に感染拡大している新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株から変異した新たな変異株が原因で、「のどの痛み」が特徴のようです。

また、感染者からの報告では、「のどが痛いだけなので出勤していたが、通院して検査したら新型コロナウイルス陽性だった。その後、職場の身近な人たちが新型コロナウイルス感染症を発症したということを知り、大変申し訳ないことをしたと思っている。」という事例があります。おそらく、「風邪なのかな」「扁桃腺炎かな」と新型コロナウイルス感染症を疑わず職場に行き、結果的に感染拡大を招いてしまったのではないかと考えられます。

本校でも間もなく2学期始業式を迎えますが、9月中旬には1年生の清里移動教室、10月初旬には中間考査と2年生の下田移動教室が控えています。

宿泊行事では、実施直前に新型コロナウイルス感染症に感染すれば参加できなくなるだけでなく、実施中に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されれば、保護者の方に現地まで迎えに来てもらうことになります。さらに、実施中の発症により当該学年内のクラスターの発生が予想されるとともに、その後の学級・学年閉鎖措置も起こりえます。

また、新型コロナウイルス感染症が陽性になったため中間考査を欠席した場合は、高校受験が不合格になるという不利益にならないよう教育的配慮はしますが、それでも後日の受験によりあくまでも参考点として扱うことが最大限の配慮となります。3年生にとっては進路決定に関わる重要な中間考査に向けて「せっかく試験勉強をしたのにその力を発揮することができなかった」という結果になってしまうことになります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株に学校全体として立ち向かっていくためにも、「発熱がなくても、のどの痛みを感じる」という症状が現れた場合は、まずは新型コロナウイルス感染症を疑って医療機関を受診していただくようお願いいたします。くれぐれも、「なんかのどが痛いな」という状況でお子さんを登校させることのないよう、各ご家庭でお子さんの健康管理をしていただき、集団で感染症の拡大に立ち向かっていきたいと考えております。

あと1週間で2学期が始まります。今からお子さんの健康状況を把握していただき、円滑な教育活動の実施にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。